

令和元年度 第1回 中央区地域公共交通検討会議 会議概要	
開催日時	令和元年 11 月 27 日（水曜）午前 10 時 00 分から午前 11 時 40 分まで
会 場	中央区役所 5 階 対策室
出席者 （敬称略）	中央区自治協議会 第4部会 佐藤 雅之, 竹田 良性, 松川 由人 新潟島に循環バスを走らせる会 事務局長 野本 孝 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 運輸企画専門官 塩原 隆太郎 新潟交通株式会社 乗合バス部 稲家 雄太, 吉田 翔 新潟交通観光バス株式会社 乗合バス課 課長 松田 英憲 新潟警察署 交通管理係長 近藤 肇 新潟中央警察署 交通管理係長 裏田 伸二 新潟市ハイヤータクシー協会 専務理事 佐々木 紀彦 新潟市都市政策部 都市交通政策課長 課長 坂井 秋樹 中央区建設課 課長 鈴木 直純 中央区地域課 課長 岩渕 武紀 中央区地域課 課長補佐 中島 正裕
事務局	都市交通政策課 1 名 中央区建設課 1 名 中央地域課 3 名
議 事	1 開会 ○ 中央区地域課長補佐より、本会議の位置づけについて説明。 2 議事 中央区生活交通改善プランの策定について （1）中央区生活交通改善プランの改定について（資料1） 中央区生活交通改善プラン（案）（資料2, 資料2-1） ○ 中央区地域課長より、資料1及び資料2, 資料2-1について説明。 （2）意見交換 主な質疑は、以下のとおり ① 新潟市ハイヤータクシー協会専務理事 佐々木氏 ・タクシー業界の取組みとして、免許返納高齢者1割引を実施しているので、改善プランに盛り込んでほしい。 ・市と市民、商店街、交通事業者が一体となった「協働」の取り組みが必要ではないか。 ⇒（回答）地域課 免許返納高齢者に対して行っている「高齢者運転免許証返納サポート事業」については、プランに盛り込む方向で検討する。また、協働の取り組みについては、今後検討していきたい。 ② 新潟島に循環バスを走らせる会事務局長 野本氏 ・しもまち循環バス「にこにこ号」は公共交通空白地域である二葉町での利用が多い。収支率は50%を超え、利用者に大変喜ばれている。 ・マイカー依存度が高いことについて、区民の公共交通利用への意識が低いのでは

なく、公共交通の整備が充分でないからではないか。

- ・区は、他の地域での住民バスなどの要望をつかんでいるのか。新たに住民バスを走らせたい地域があれば区は支援するのか。

⇒（回答）地域課

今現在そういった要望はないが、他の地域でも、住民バス等のニーズがあれば必要な支援の検討を行っていききたい。

③ 自治協議会（第4部会）佐藤部会長

- ・古町で全てが揃い、古町しか繁華街がなかった昔と違い、現在は目的地が散在している。JR、バスだけでは移動の要望をカバーできないので、タクシーを制限付きで廉価で乗車できるサービスなどを導入できないか。また、欧州諸国のような「交通税」を市独自に課税し、財源をカバーできないか。

⇒（回答）地域課、都市交通政策課

タクシー活用策は財源の問題があるが、今後も、デマンドを含め地域の特性に応じた公共交通を検討していききたい。

④ 自治協議会（第4部会）竹田副部会長

- ・バス停の上屋について、これまでの取組結果で信濃町バス停上屋が整備されたが、市が整備したのか。また、経費はいくらで、整備基準はあるのか。

⇒（回答）都市交通政策課

整備は市が行っており、費用は設計から設置まで1か所約1,000万円かかっている。年2～3か所の整備を考えているが、財政状況が厳しい中で整備が進まないのが現状である。利用の多いバス停など評価項目を定め、優先的に整備しているが、そうすると西方面が優先されてしまうので、地域間（東方面）バランスも考慮している。

⑤ 自治協議会（第4部会）松川委員

- ・「利便性の向上」「回遊性の向上」を目指すなら、利用者の費用負担も考慮すべき。また、他都市では通年ある「1日乗車券」が新潟では未だ期間限定で販売されている。今後、通年販売の予定はないのか。10～11月限定で1,000円の1日乗車券「ぶらばすチケット」が発売されているが、売れ行きは。また、差額はどこが負担しているのか。

⇒（回答）市都市交通政策課

市は負担していない。

⇒（回答）新潟交通

「ぶらばすチケット」は1日4～5枚程度と売れ行きが今一つ。期間限定で社会実験で、原因分析を行って通年販売の是非や、販売する場合の価格設定、利用エリアなどを今後検討していききたい。

	3 その他 自治協議会第4部会の佐藤部会長より、第4部会の取り組み「バス利用促進・環境改善プロジェクト」の説明と、関係各機関への提案がありました。 ① 第4部会で実施した取り組みの説明。 ・「にいがた新バスシステム時刻・運賃検索」PRチラシの作成 ・転入者への案内強化（転入セットへバス検索チラシの封入） ・人が集まる場所でのPR拡大 ② 短期的施策の提案 ・古町、万代などバス停分散地区に乗り場マップを貼付してほしい。 ・コンビニのイートインコーナーをバス待合スペースとして活用する取り組みを検討してほしい。 ⇒（回答）新潟交通 持ち帰って検討したい。 ③ 中期的施策の提案 ・地域・学校で公共交通の必要性和公共交通中心のまちづくりについて出前講座を開いて欲しい。 ⇒（回答）都市交通政策課 市政さわやかトーク宅配便として出前講座は既に利用してもらっている。回数は十分ではないので、今後も進めていきたい。 ・運転免許返納者へチラシ配布などPRを強化して欲しい。現在のタクシー運賃1割引だけでなく、シニア半割なども周知してほしい。 ⇒（回答）警察署 現在、タクシー1割引のチラシは配布しているので、ご指摘のバスの利用促進につながるチラシを設置することも可能である。 ○その他、乗り場案内の充実・多言語化や拠点バス停の整備、案内係員の常駐、公共交通サポーター制度の創設、運行情報の自動メール配信サービス導入、高齢者向け均一区間フリー定期券の拡充などを提案しました。 4 閉会
傍聴者	0名
報道機関	0社